

[説明資料] 発明・工夫作品コンテスト 製作の動機または目的、利用方法、作品自体やその製作過程で工夫したことを文章、写真、図などで説明。この用紙1枚に記入後、PDFファイルを作成。

学校名	岐阜大学	個人名	相宮 隆二	作品名	建材を使った木工品 木馬
-----	------	-----	-------	-----	--------------

製作の動機

昨年度まで赴任していた中学校の技術室に、使われなくなった2×4材の棚があり、他に有効利用できないかと考えていた。そこで、自宅で子どもが遊べるような玩具として再利用・製作をした。



ロッキングのための湾曲は、学校備品にあった黒板で使うような大きな分度器を使ってスミをつけた。ノコギリで大まかに切っておいてから、オービタルサンダーで仕上げた。市販されているものは、湾曲がより大きく取っているものが多い。



2×4のSPF材を1×4のサイズに切断し、材料を張り合わせることで、幅広の板を得た。各製品の接合は、木ねじと木工用ボンドを併用し、丸棒でネジ穴を埋めた。

技術教育は、社会生産との関連性なくしては存在することが難しくなる。だからこそ、そこで生み出される作品は実生活の中で利用され、他者の生活を豊かにするものでなくてはならない。この木馬は、子どもがある程度乱暴に扱うことを想定し、それに耐えられるような設計・加工をした。

建材は比較的安価で入手でき、あくまでも工業製品であるので、材質もほぼ揃えられている。大きな作品を製作することもできるので、授業実践の可能性を多いに秘めていると感じた。

